３学年保護者会（６月２２日（火））　校長挨拶

高校生は、半分、子ども。半分、大人。

もう子どもではない。大人でしょ。しっかりやりなさい。
まだ子どもでしょ。大人ではない。ダメよ。

子どもだったり、大人だったり・・・
こどもから大人へ。高校生は「ことな」とも呼ばれ、微妙な、難しい年頃です。

しかし、高校を卒業したら、進学であろうと、就職であろうと、社会に出ます。
社会に出れば、大人として扱われます。
高校の三年間で、社会の厳しい風に負けないよう、お子さんをしっかり育て上げないといけない。
そういう思いで、クラス担任は、「ことな」と呼ばれる難しい年頃のお子さんを、ご家庭と力を合わせながら、指導・支援しております。

クラス担任はすばらしい先生です。
豊かな経験とあふれる情熱を持っております。

思いやりの心を持つように。
努力する力を身につけるように。
自立できるように。

クラス担任を中心に、遠野高校の全職員が力を合わせて、
お子さん一人一人を手厚く、丁寧に、きめ細かに指導・支援しています。

今春の卒業生まで１０年連続で、生徒の希望進路実現１００％を達成。
お子さんを社会に送り出すのに、１年を切りました。
学校と家庭が力を合わせてあと一踏ん張り。
では、何を、どうするのか。
このことについては、これからのお話の中で。

お子さんが社会へ力強く旅立つことができるよう、
お子さんをまん中に家庭と学校で力を合わせて頑張りましょう。

では、卒業式、笑顔でお目にかかりましょう。
本日は、よろしくお願いいたします。